



平成 29 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 徳倉建設株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 徳倉 正晴  
 (コード：1892、名証第2部)  
 問合せ先 取締役経営管理本部長 郡司 哲夫  
 (TEL. 052-961-3271)

平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想値と実績値との差異  
 および通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 5 月 12 日および同 7 月 28 日に公表した平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）の業績予想値と、本日発表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

あわせて、平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の通期の業績予想について、下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）

(1) 連結

単位：百万円

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 ( A )	21,000	650	350	2,200	1,068 円 53 銭
実 績 値 ( B )	20,314	256	255	2,152	1,045 円 53 銭
増 減 額 ( B - A )	△686	△393	△94	△47	
増 減 率 ( % )	△3.3	△60.5	△26.9	△2.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	19,768	638	343	215	104 円 50 銭

(2) 個別

単位：百万円

	売 上 高	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 ( A )	13,000	120	80	38 円 43 銭
実 績 値 ( B )	12,381	257	172	83 円 01 銭
増 減 額 ( B - A )	△618	137	92	
増 減 率 ( % )	△4.8	114.6	115.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	13,043	74	46	22 円 20 銭

※平成 29 年 10 月 1 日を効力発生日として、10 株を 1 株とする株式併合を実施しております。これに伴い、平成 29 年 3 月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1 株当たり四半期純利益を算出しております。

2. 平成30年3月期通期業績予想の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(1) 連結

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	51,000	1,400	1,200	2,800	1,359円97銭
今回修正予想（B）	50,000	1,100	1,000	2,600	1,262円81銭
増減額（B－A）	△1,000	△300	△200	△200	
増減率（％）	△2.0	△21.4	△16.7	△7.1	
（ご参考）前期実績 （平成29年3月期）	42,984	1,148	1,168	1,063	516円71銭

(2) 個別

単位：百万円

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	31,000	800	500	240円23銭
今回修正予想（B）	30,000	700	400	192円19銭
増減額（B－A）	△1,000	△100	△100	
増減率（％）	△3.2	△12.5	△20.0	
（ご参考）前期実績 （平成29年3月期）	30,049	779	782	375円83銭

※平成29年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施しております。これに伴い、平成29年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出しております。

3. 差異及び修正の理由

(1) 差異の理由

当第2四半期連結累計期間の業績は、連結グループ全体での人件費の増加、店社リニューアルに伴う修繕費、その他経費等の販管費の増加により、営業利益が予想値を下回りました。このため、金融費用の減少及び為替差益の計上等がありました。一方、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は予想値を下回りました。一方、当第2四半期累計期間の個別業績は、受注時期の遅れ等があり売上高は予想値を若干下回りましたが、為替差益の計上、金融費用の減少、受取配当金の増加等で経常利益、四半期純利益ともに予想値を上回りました。

(2) 修正の理由

平成30年3月期通期連結の業績は、連結グループ全体での販管費の増加等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は予想値を下回る見込みであります。一方、平成30年3月期通期の個別業績は、第2四半期累計期間の個別業績と同様に営業外損益が改善する見込みですが、販管費の増加等により、経常利益、当期純利益は予想値を下回る見込みであります。

(注) 上記の業績予想は、当社が本資料の発表時現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上